

自由同和

大阪版

運動スローガン

1. 自由な論議の場を!
2. 行政の主体性の確立
3. エセ同和行為の排除

No. 400

2020年(令和2年)6月25日発行

■発行所 自由同和会大阪府本部事務局
堺市堺区宿屋町西1丁目1番22号 三徳ビル3F
電話(072)224-1111
■発行人 畑中幸司
定価一部500円 年間6000円(送料込み)

ホームページ▶ <http://jiyudowa-osaka.org/>

「第32回大阪経済商工連合会総会」密を避け開催される

令和元年度事業報告

- 令和元年8月2日(金)
「第31回大阪経済商工連合会大会」開催(大商連事務所)
- 令和元年10月1日(火)
近畿ブロック新三役、大阪国税局・大阪法務局・近畿地方整備局・近畿経済産業局を訪問。
- 令和元年11月15日(金)
近畿ブロック事務局次長会議参加。
- 令和2年2月7日(金)
「近畿ブロック各省庁要請行動」に参加し、要望書を提出。
- 令和2年2月17日(月)～
大阪経済商工連合会確定申告相談実施。
- 令和2年2月17日(月)
京都府本部八幡市にて開催の確定申告相談会に1名出席。
- 令和2年3月31日(火)
収支報告書を作成。

令和2年事業方針

1. 近畿経済商工連合会と協力し、国税局・大阪府・各市町村に同対審答申の精神の徹底を求めていく。
1. 各商工会事務局で地区、地域住民の経営相談にのれる様、事務局学習会・交流会を進めていく。
1. 会員の拡大強化を進めていく。
1. 計算事務センターの強化を推進いく。

令和2年6月12日(金)午後2時より、「第32回大阪経済商工連合会総会」を大阪経済商工連合会事務局に於いて開催される。畑中理事長より、「新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、経済活動の制限や休業・自粛要請などで会員の中小零細企業や個人事業主の方々が、存続の危機に陥っておられる今こそ、大阪経済商工連合会として国の施策や自治体からの支援金を最大限活用して、この危機を乗り越え生き残ることを第一に考えて、各自会員の皆様方の力になって一致団結して乗り越えよう」との挨拶で始まり、岡田副理事長の議事進行で進められ会員の事業者方々を万全の態勢で対応することを確認し提出議案すべて承認され、重副理事長の挨拶で閉会しました。

「6条に係る調査」についての意見

2017年9月12日 自由同和会中央本部
自由同和会第35回全国大会資料より掲載

現在の同和地区は、平成5年の生活実態調査(別紙の1を参照)の段階でも混住率は41.4%でしかなく、その後、同和地区内の公営住宅の一般公募が進められていることを勘案すれば、30%台になっていることは論を待ちません。

このように同和関係者が少数になっている地域を同和地区や部落という呼称にすることには抵抗がないわけではなく、平成14年3月に同和関係法が失効し、法的には同和地区や同和関係者は存在しなくなりました。

平成5年の生活実態調査は、昭和44年から三度にわたる特別措置法による同和施策の効果を測定するものであり、同和対策を実施するために同和地区を指定し、かつ、同和関係者を選別していたものです。

今回、この平成5年に行われたと同様の調査を実施するには、再度、同和地区(対象地域)を指定し、同和関係者を選別しなくてはならず、住民にとってはセンシティブな問題で、場合によってはアウトティングの可能性を残します。

ましては、再び、同和地区や同和関係者とのレッテルが貼られ、固定化される懸念が生じます。

私どもが求める実態調査は、法務省の人権侵害事件調査処理規定による人権侵害事件の新規受理件数や相談件数(別紙の3、4を参照)と地方公共団体が把握する部落差別事象の件数に乖離があることから、法務省の新規受理件数とは別に、全国の地方公共団体が把握する部落差別事象の件数及びその内容をまとめるための調査です。

この調査であれば、同和地区(対象地域)の指定や同和関係者の選別は必要がなく、住民の感情を害することなく、アウトティングの可能性もありません。

このことに心配して参議院法務委員会では、「当該調査により新たな差別を生むことのないように留意しつつ、それが真に部落差別の解消に資するものとなるよう、その内容、手法等について慎重に検討すること」を附帯決議に加えました。

インターネット上での部落差別に関しては、私どもは平成14年からブログやTwitter、掲示板などを毎日モニタリングを行っていますが、当時に比べると現在では約 $\frac{1}{10}$ 程になっており、特に悪の代名詞になっている大規模掲示板「2ちゃんねる」でも、先月、福岡県のある町の町長へ圧力を掛けて、護岸工事の用地になっていた公営住宅の土地である「行政財産」を違法に売却させ、県から高額な移転補償金を部落解放同盟の関係者が受け取ったとして報道された事案でも、これまでであればこのような不祥事はお祭り(炎上)になるので

すが、僅か3本のスレッドで137件の書き込みでdat落ちになっているし、これも先月発生したYahooのオークションに壬申戸籍が出品された件でも、3本のスレッドで1,587件の書き込みでdat落ちしています。また、人権版は今や過疎化しています。

今回のヤフオクでの壬申戸籍の出品についての法務省の対応は削除を求めるものであったが、オークションに参加して落札すれば、真贋の程は明確ではないが二度と人前に出さずに至らしめることができたし、購入手続きの際に出品者の個人情報取得することもできたことを勘案すれば、一考の余地ありだと思われまます。

直接調査とは関係ありませんが、この案件は「人権擁護法案」が成立していれば、差別助長行為に該当し、特別救済の対象になり、差し止め請求ができたであろうと思われるので、再度、人権救済制度の確立に向けた議論を急ぐべきだと思料します。

効果的な教育・啓発を行っていくには、全国でどのような部落差別の内容が何件くらい発生しているのかの実態把握と同和問題が国民の中でどのような実態になっているのかの実態調査(意識調査)は必要不可欠であると思われまますが、これまでのような「同和問題でどのような差別があると思いませんか」との差別があることを前提にして、結婚問題とか就職問題に解答させるような、教育・啓発で学習した結果に誘導させるような設問は現状を見誤せると言わざるを得ません。

アンケートに答える人が実際に自身の周辺で、同和問題に関して何か観たり聞いたり関わったことがあるのか、その問題とは部落差別に関するものなのか、或いは、同和運動団体に関するものなのか、そして、部落差別であれば結婚問題に関するものなのか、就職に関するものなのか、その他のトラブルに関するものなのか、実際に遭遇したことがあるかを設問にするべきです。

また、同和問題を認知した時期や方法の設問は大事ですが、教育・啓発以外で認知した場合はマイナスの評価になっているのが現状です。

これは親や親せき、職場の人からの情報は誤ったものだと、これまでの教育・啓発の成果を否定するものになり、どのような内容であったかも併せて設問し、これまで実施されてきました教育・啓発の成果が問われる設問にするべきです。

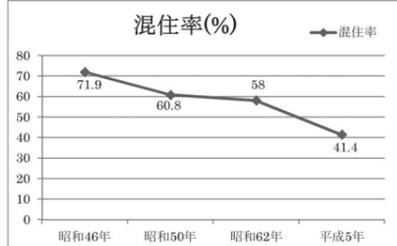
同和問題の最大の壁である結婚問題に関しては、大阪府や大阪市が行ってこられた「結婚相手の気になること」(資料の5、6を参照)は、現在の日本人の真情を理解する指標になりますので設問に必ず加えてください。

同和問題の現状について

令和2年5月作成
自由同和会第35回全国大会資料より掲載

1. 混住率について

混住率とは、同和地区の中に同和関係者がどのくらい居住しているのかの割合を示すもので、割合が低いほど同和関係者が少なく、同和関係者以外の人が多いことになる。



| | 報告府件数 | 報告市町村数 | 報告地区数 | 世帯数 | | 人口 | | 混住率 |
|-------|-------|--------|-------|---------|---------|-----------|-----------|------|
| | | | | 地区全体 | 同和関係 | 地区全体 | 同和関係 | |
| | 府県 | 市町村 | 地区 | 世帯 | 世帯 | 人 | 人 | % |
| 昭和46年 | 32 | 1,014 | 3,972 | 386,992 | 277,137 | 1,458,802 | 1,048,566 | 71.9 |
| 昭和50年 | 34 | 1,041 | 4,374 | 520,062 | 315,063 | 1,841,958 | 1,119,278 | 60.8 |
| 昭和62年 | 36 | 1,127 | 4,603 | 569,662 | 328,299 | 2,010,230 | 1,166,733 | 58.0 |
| 平成5年 | 36 | 1,081 | 4,442 | 737,198 | 298,385 | 2,158,789 | 892,751 | 41.4 |

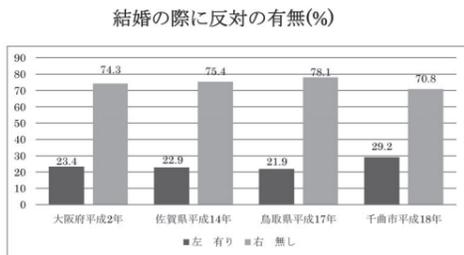
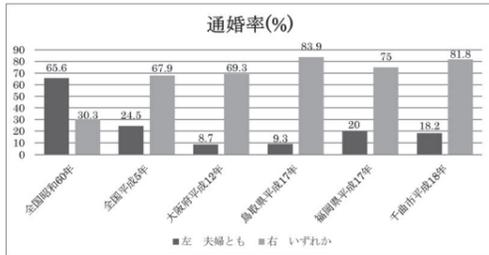
2. 通婚率と反対について

通婚率とは、同和関係者が同和関係者以外の人とのくくらい結婚しているのかの割合をしめすもので、割合が高いほど同和関係者以外の人と多く結婚していることになる。

| | 夫婦とも地区の生まれ | 夫婦のいずれかが地区外の生まれ |
|-------|------------|-----------------|
| 昭和60年 | 65.6% | 30.3% |
| 平成5年 | 24.5% | 67.9% |

府県及び市町村(25歳未満)

| | 夫婦とも地区の生まれ | 夫婦のいずれかが地区外の生まれ | 結婚時の反対の有無 | |
|------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|
| | | | 有り | 無し |
| 大阪府平成2年調査 | | | 昭和60年以降 23.4% | 昭和60年以降 74.3% |
| 大阪府平成12年調査 | 30歳未満 8.7% | 30歳未満 69.3% | | |
| 鳥取県平成17年調査 | 9.3% | 83.9% | 10年以内 21.9% | 10年以内 78.1% |
| 福岡県平成17年調査 | 20.0% | 75.0% | | |
| 千曲市平成18年調査 | 平成7年以降 18.2% | 平成7年以降 81.8% | 20歳~49歳 29.2% | 20歳~49歳 70.8% |
| 佐賀県平成14年調査 | | | 22.9% | 75.4% |



3. 地方公共団体が把握する部落差別の件数について

大阪府と大阪市は、それぞれが把握する人権侵害の件数(課題別に集計)を毎年公表しているで紹介する。また、法務省の人権侵害並びに同和問題に関する新規受付件数をも紹介する。

大阪府が把握する同和問題に関する差別事件数(大阪府は除く、かっこ内は学校現場)

| 内 訳 | 落書き、投書 インターネット上の書き込み 手紙等の送付、問い合わせ | 侮辱や嫌がらせなどの 差別的言動等 | 合 計 | 府・大阪市 | | 法務省 | |
|--------|---|----------------------|----------|-------|-----|-----|--|
| | | | | 合 計 | 新規 | 相談 | |
| 平成18年度 | 36件(4件) | 20件(8件) | 68件(12件) | 145件 | 37件 | 41件 | |
| 平成19年度 | 31件(5件) | 27件(7件) | 58件(12件) | 256件 | 15件 | 18件 | |
| 平成20年度 | 26件 | 18件(4件) | 44件(4件) | 111件 | 22件 | 17件 | |
| 平成21年度 | 21件(2件) | 0件(6件) | 29件(8件) | 60件 | 23件 | 15件 | |
| 平成22年度 | 25件 | 7件(5件) | 37件(5件) | 75件 | 16件 | 19件 | |
| 平成23年度 | 21件(3件) | 7件(4件) | 28件(7件) | 58件 | 9件 | 24件 | |
| 平成24年度 | 17件 | 4件(1件) | 21件(1件) | 61件 | 15件 | 43件 | |
| 平成25年度 | 19件(2件) | 5件(3件) | 24件(5件) | 56件 | 7件 | 16件 | |
| 平成26年度 | 19件(2件) | 5件(6件) | 24件(8件) | 43件 | 7件 | 14件 | |
| 平成27年度 | 45件(0件) | 3件(5件) | 48件(5件) | 82件 | 2件 | 16件 | |
| 平成28年度 | 23件(0件) | 0件(2件) | 23件(2件) | 52件 | 2件 | 20件 | |
| 平成29年度 | 20件(1件) | 0件(3件) | 20件(4件) | 44件 | 8件 | 28件 | |
| 平成30年度 | 11件(0件) | 0件(3件) | 11件(3件) | | 8件 | 30件 | |

※府・大阪市の合計は教委の差別事象を除いたもの ※27年度の増加は、一人が26カ所に差別文書をばらまいた結果

大阪市の同和問題に関する差別事件数(かっこ内は学校現場)

| 内 訳 | 落書き | 発言 | 電話 | 投書 | その他 | 合 計 | 和歌山県の同和問題に関する差別事件数 | |
|--------|------|----|-----|-----|-----|----------|--------------------|--------|
| | | | | | | | 落書き・電話・投書 | 言辞・言動 |
| 平成18年度 | 56件 | | | 21件 | 0件 | 77件(0件) | | |
| 平成19年度 | 176件 | 1件 | 17件 | 3件 | 0件 | 198件(1件) | | |
| 平成20年度 | 42件 | 9件 | 8件 | 3件 | 2件 | 67件(3件) | | |
| 平成21年度 | 16件 | 3件 | 10件 | 2件 | 0件 | 31件(0件) | | |
| 平成22年度 | 14件 | 2件 | 9件 | 3件 | 4件 | 38件(6件) | | |
| 平成23年度 | 15件 | 1件 | 4件 | 5件 | 5件 | 30件(2件) | | |
| 平成24年度 | 11件 | 3件 | 7件 | 11件 | 8件 | 40件(7件) | | |
| 平成25年度 | 18件 | 1件 | 3件 | 1件 | 9件 | 32件(1件) | 3件 | 6件(0件) |
| 平成26年度 | 11件 | 2件 | 5件 | 1件 | 0件 | 19件(0件) | 1件 | 5件(0件) |
| 平成27年度 | 7件 | 4件 | 7件 | 14件 | 2件 | 34件(0件) | 4件 | 1件(0件) |
| 平成28年度 | 18件 | 2件 | 5件 | 0件 | 4件 | 29件(2件) | 7件 | 3件(2件) |
| 平成29年度 | 6件 | 1件 | 6件 | 2件 | 9件 | 24件(4件) | 11件 | 5件(1件) |
| 平成30年度 | 8件 | 1件 | 5件 | 2件 | 4件 | 20件(0件) | 4件 | 9件(2件) |

※25年度の投書の1件はビラ
※25年度のその他の9件はインターネット
※27年度の増加は、一人が26カ所に差別文書をばらまいた結果

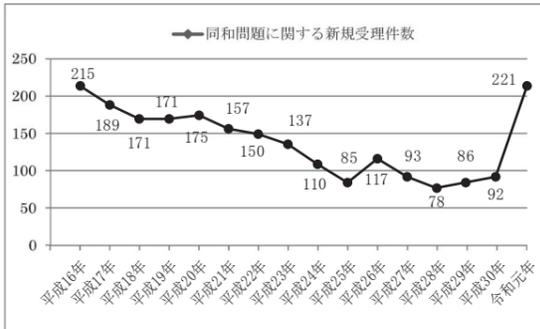
※25年度の10件は、その他含む
※26年度の11件は、結婚1件含む
※30年度は、平成30年11月30日現在

4. 法務省の「人権侵犯事件」統計の新規受理件数の推移(人権問題全般と同和問題関係の件数)

| 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 人権 同和 |
| 18,767件 215件 | 23,806件 189件 | 21,328件 171件 | 21,506件 171件 | 21,412件 175件 | 21,218件 157件 |

| 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 |
| 21,696件 150件 | 22,168件 137件 | 22,930件 110件 | 22,437件 85件 | 21,718件 117件 | 20,999件 93件 |

| 平成28年 | 平成29年 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 | 人権 同和 |
| 19,443件 78件 | 19,533件 86件 | 19,063件 92件 | 15,420件 221件 |



| | 新規受理 | 相談 | | 新規受理 | 相談 |
|-------|------|------|-------|------|------|
| 平成16年 | 215件 | | 平成24年 | 110件 | 414件 |
| 平成17年 | 189件 | | 平成25年 | 85件 | 386件 |
| 平成18年 | 171件 | 477件 | 平成26年 | 117件 | 417件 |
| 平成19年 | 171件 | 453件 | 平成27年 | 93件 | 404件 |
| 平成20年 | 175件 | 407件 | 平成28年 | 78件 | 424件 |
| 平成21年 | 157件 | 380件 | 平成29年 | 86件 | 393件 |
| 平成22年 | 150件 | 392件 | 平成30年 | 92件 | 358件 |
| 平成23年 | 137件 | 444件 | 令和元年 | 221件 | 339件 |

5. 結婚相手の気になること大阪府平成22年調査(%) すべて複数回答

| | 相手の学歴 | 相手の経済力 | 相手の職業 | 相手の家柄 | 相手の国籍・民族 | つ相手がやい家族にど隣うがいかいを持 | 相手の宗教 | か相手が同和地区出身者 | 相手の人柄・性格 | 相手の趣味や価値観 | 理仕事と協力する相手の | 家事や育児の能力や姿勢 | 離婚歴 | 一人親家庭かどうか | とくに気になる・しない | その他 | 無回答・不明 |
|--------|-------|--------|-------|-------|----------|--------------------|-------|-------------|----------|-----------|-------------|-------------|------|-----------|-------------|-----|--------|
| 20~29歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 12.1 | 41.4 | 24.1 | 15.5 | 10.3 | 5.2 | 34.5 | 8.6 | 93.1 | 75.9 | 58.6 | 41.4 | 27.6 | 1.7 | — | 1.7 | 6.9 |
| 子ども | 15.5 | 62.1 | 39.7 | 24.1 | 15.5 | 13.8 | 39.7 | 12.1 | 84.5 | 46.6 | 48.3 | 46.6 | 34.5 | 5.2 | 3.4 | 1.7 | 10.3 |
| 30~39歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 8.3 | 50.0 | 24.1 | 14.8 | 19.4 | 11.1 | 28.7 | 15.7 | 87.0 | 69.4 | 46.3 | 42.6 | 25.0 | 4.6 | 3.7 | 1.9 | 5.6 |
| 子ども | 12.0 | 65.7 | 39.8 | 18.5 | 24.1 | 16.7 | 34.3 | 16.7 | 87.0 | 52.8 | 45.4 | 48.1 | 37.0 | 5.6 | 2.8 | 2.8 | 7.4 |
| 40~49歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 7.9 | 38.6 | 17.3 | 10.2 | 22.0 | 9.4 | 23.6 | 18.1 | 86.6 | 63.0 | 47.2 | 35.4 | 19.7 | 3.1 | 1.6 | 3.1 | 7.1 |
| 子ども | 16.5 | 56.7 | 33.1 | 15.0 | 27.6 | 18.9 | 26.0 | 21.3 | 85.8 | 48.8 | 39.4 | 35.4 | 29.1 | 4.7 | 0.8 | 4.7 | 11.0 |
| 50~59歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 11.9 | 40.3 | 24.6 | 14.2 | 18.7 | 9.7 | 29.1 | 17.9 | 86.6 | 47.0 | 38.8 | 26.1 | 14.2 | 1.5 | 3.7 | 1.5 | 6.7 |
| 子ども | 17.9 | 58.2 | 33.6 | 17.9 | 20.9 | 15.7 | 30.6 | 20.9 | 81.3 | 37.3 | 35.1 | 29.9 | 25.4 | 5.2 | 5.2 | 0.7 | 9.7 |
| 60~69歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 15.2 | 44.7 | 31.0 | 12.2 | 34.0 | 13.2 | 29.4 | 22.3 | 84.3 | 43.7 | 40.6 | 28.9 | 22.3 | 4.6 | 3.6 | 1.5 | 8.6 |
| 子ども | 18.3 | 55.8 | 34.5 | 15.2 | 32.0 | 16.8 | 29.9 | 21.3 | 83.8 | 36.0 | 45.2 | 35.5 | 29.9 | 11.2 | 4.6 | 2.5 | 9.1 |
| 70歳以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 20.0 | 51.4 | 31.9 | 18.9 | 35.1 | 20.0 | 28.6 | 34.6 | 80.0 | 35.1 | 45.4 | 37.3 | 27.6 | 6.5 | 1.6 | 3.2 | 14.1 |
| 子ども | 24.9 | 58.4 | 38.4 | 22.2 | 34.6 | 24.3 | 28.6 | 31.4 | 77.3 | 29.2 | 47.0 | 38.4 | 31.9 | 8.6 | 3.2 | 3.2 | 13.5 |

6. 結婚相手の気になること 大阪市平成27年調査(%) すべて複数回答

| | 相手の学歴 | 相手の経済力 | 相手の職業 | 相手の家柄 | 相手の国籍・民族 | つ相手がやい家族にど隣うがいかいを持 | 相手の宗教 | か相手が同和地区出身者 | 相手の人柄・性格 | 相手の趣味や価値観 | 理仕事と協力する相手の | 家事や育児の能力や姿勢 | 離婚歴 | 一人親家庭かどうか | とくに気になる・しない | その他 | 無回答・不明 |
|--------|-------|--------|-------|-------|----------|--------------------|-------|-------------|----------|-----------|-------------|-------------|-----|-----------|-------------|------|--------|
| 20~29歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 11.9 | 69.5 | 44.1 | 20.3 | 18.6 | 13.6 | 27.1 | 1.7 | | 78.0 | 72.9 | 39.0 | 0 | 3.4 | 8.5 | 3.4 | |
| 子ども | 18.6 | 74.6 | 49.2 | 32.2 | 25.4 | 28.8 | 33.9 | 5.1 | | 57.6 | 61.0 | 45.8 | 6.8 | 5.1 | 5.1 | 10.2 | |
| 30~39歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 17.0 | 64.0 | 37.0 | 24.0 | 29.0 | 15.0 | 48.0 | 14.0 | | 64.0 | 57.0 | 37.0 | 4.0 | 6.0 | 1.0 | 1.0 | |
| 子ども | 19.0 | 66.0 | 43.0 | 31.0 | 27.0 | 20.0 | 49.0 | 14.0 | | 46.0 | 54.0 | 41.0 | 7.0 | 6.0 | 3.0 | 7.0 | |
| 40~49歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 10.9 | 55.5 | 28.6 | 13.4 | 26.1 | 16.8 | 36.1 | 16.0 | | 56.3 | 52.1 | 25.2 | 7.6 | 16.8 | 3.4 | 0.8 | |
| 子ども | 16.0 | 63.9 | 35.3 | 22.7 | 31.1 | 21.8 | 42.0 | 16.8 | | 47.9 | 54.6 | 34.5 | 8.4 | 9.2 | 4.2 | 6.7 | |
| 50~59歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 10.5 | 53.2 | 23.4 | 15.3 | 26.6 | 15.3 | 34.7 | 23.4 | | 60.5 | 42.7 | 25.0 | 2.4 | 21.8 | 1.6 | 0.0 | |
| 子ども | 16.1 | 60.5 | 37.1 | 21.0 | 33.1 | 21.8 | 41.1 | 25.0 | | 51.6 | 41.9 | 27.4 | 5.6 | 13.7 | 2.4 | 4.0 | |
| 60~69歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分 | 13.9 | 41.6 | 24.8 | 13.1 | 25.5 | 10.9 | 16.8 | 24.1 | | 40.9 | 29.9 | 13.9 | 2.9 | 30.7 | 0.7 | 2.9 | |
| 子ども | | | | | | | | | | | | | | | | | |